

令和7年度第2回 潟上地域リハビリステーション運営推進会議録

1. 日時 令和8年3月19日（木）14時～15時
2. 場所 トレイクかたがみ研修室1
3. 出席 潟上市役所健康長寿課 佐藤様
 飯田川居宅介護支援センターわかば園 介護支援専門員 伊藤 様
 利用者代表 S 様、 Y 様
 利用者家族 SA 様（
 トレイクかたがみ 管理者代理 登藤 裕光
 潟上地域リハビリステーション管理者 渡部 見
 潟上地域リハビリステーション 生活相談員 大竹 絵美子
 （欠席：民生委員 様）

4. 活動状況に関する報告

トレイク 登藤	この会議で地域みなさんに我々の活動を知っていただき、忌憚のないご意見やアドバイスをいただけたら幸いです。
潟上地域 リハビリステーション（大竹）	<p>① 利用状況 登録人数はほぼ横ばい。冬期間は体調不良で入院や長期療養のため欠席者が多く、利用延べ人数は減少した。</p> <p>② 全国平均との比較（介護度、年齢） 全国平均よりも平均介護度が低く、平均年齢も低い。</p> <p>③ 最近の取り組み 今年度はコグニサイズ指導者、実践者の資格を取得し、コグニサイズ促進協力施設の認定を受けている。嚥下運動モニタB4Sで嚥下状態を評価している。</p> <p>④ 今後のリハビリ パーキンソン病特化のリハビリ（LSVT BIG）資格を取得する予定。</p>
潟上地域リハビリステーション （渡部）	総合事業対象者向けにコグニサイズ、要介護者向けにLSVTと2本柱で考えている。コグニサイズは全職

	員、LSVTは全リハビリ職員が資格取得し、全員が同じ技術で提供できるようにする。4月からは新たに動的バランス評価も定期評価に加える。学会発表も行い、取り組みを発信していく。
--	--

5. 意見交換、質疑応答

潟上市健康長寿課 佐藤 様	利用者が楽しんで自主的にリハビリを行っており、また客観的なデータで変化を感じることができるためモチベーションにつながる。
介護支援専門員 伊藤 様	事業所としても目標がはっきりしているため、通所利用希望者に勧めやすい。3か月毎に評価データは本人、家族、ケアマネージャーが確認しやすい。
利用者代表 S 様	意欲的に運動を頑張っている。
利用者家族代表 SA 様	去年は熊が出没して散歩ができなくなったため心配していたが、筋力が維持できていると思う。利用がない日は近所を散歩している。
利用者代表 Y 様	身体の調子がよくなってきて、利用回数を増やそうとしていた。腰の痛みもあるが、無理せずに運動をしている。